十日町市政だより
毎月15日発行 1部5円
十日町市役所発行
TEL 701
世帯数 7,446
市の人口 43,414
男 20,681 女 22,733

市財政事情の公表

卅一年度黒字決算

税収成績九三、五パーセント
極力経費の節減に努力

毎年市財政事情を二月、八月定期的に公表を行い、市民の皆さんの理解を得、併せて一層の協力を願い、より健全な運営ができますよう努めて参りました。今回の公表は、昭和三十一年度決算の概要と昭和三十二年度予算の執行、市民負担の状況及び市債の現況について申上げます。

皆さんの協力により 徴収成績九三・五%

昭和三十一年度決算

① 一般会計

歳入決算総額一九、一七八、四三一円

○七六円

○一、一八一、三五一円

農学

宿のような農業決算ができたのは、歳出において極力消費節約の調査に努めたとて、歳入において市税以上に市長し、市民の皆さんの協力により徴収成績良好で、配当額に対し九三・五%あったこと。又地方交付税も税以上交付されたことなどによるものであります。

昭和三十一年度決算した主なる事業を拾って見ると、

◇土木関係で、道路新設改良費一〇万円、橋梁新設改良費一二万円、国道補償費補金一〇二万円、自動車入三〇万円、道路災害復旧一五〇万円、農業水利施設補一八、四三六、○七六円

◇農業総務関係で、林道事業費五五万円、十地改良事業四一六万円。

◇社会福祉関係で、生活保護費一九一万円、公営住宅建設及用地一五三万円、県営住宅建設費三四一万円。

◇消防関係で、可搬動力ポンプの購入一七〇万円。

◇その他で合併繰一三二万円、繰越金(前年度決算で二八九万円の赤字を出したのであります)、三十一年度繰越繰越は上昇しておりますが、繰越繰付率、六眼を五眼に、初診料の給付停止等、皆さんの協力の賜で、三十一年度決算においては、二六〇万円の黒字決算となりました。

◇農業総務関係で、水道事業費一〇万円。

◇農業構造改善事業費一二万円。

◇農業総務関係で、土地改良三四一万円、新農業経営事業費四一六万円、新地改良事業費九八万円等が主なものであります。

◇林業関係で、道路、橋梁新設改良、治山事業費一二万円。

◇土木関係では、道路、橋梁新設改良、都市計画(高田土地区画整理、住宅、稲荷町線、街路)七七一万円、橋梁災害復旧費三〇六万円。

◇消防関係で、可搬動力ポンプ購入費一七六万円。

◇教育関係では高田小学校鉄筋校舎一〇万円、川治中学校新築一六五万円。

◇衛生関係では、汲取便生自動車購入費一二一万円。

◇農業構造改善関係で、土地改良三八、二万円、新農業経営事業費四一六万円、新地改良事業費九八万円等が主なものであります。

◇公営企業関係で、新市場建設費(本庁内)、道路用地、郵便局用地、水道用地、消防用地、農業用地、農業用地、農業

山林を荒すスギノハダニ

法定害虫」に指定陳情

BHCくん煙剤は国庫補助

スギノハダニ

の防除は木の上の方だけに、ヘリコプターによる三番飛散撒布のほか効果的な方法がないようである。ところがこのスギノハダニは法定害虫に指定されていないので補助金は交出されていない。これが防除には多額の費用を必要とするので、スギノハダニは法定害虫に指定されてこの補助金を交出されるよう本市から県農林部長に陳情中であるが、スギノハダニの法定害虫に指定されて補助金交付の途を開いて欲しいと具体的に陳情することになった。

（写真はくん煙剤の試験）

最近特にBHCくん煙剤による、森林害虫防除事業を一般BHC剤のなかに補助の対象事業として、取り上げることになった。くん煙剤による森林害虫防除は四月にBHCガンマ・体と煙をたき絵を入れてつくったくん煙剤を、森林の中で風穴、防除するもので、風穴森林内の気温と森林外の気温の差の大きい時を見計って行う。この時間に行なえば煙は森林内だけに広がり、薬害は殆ど効果が上がられる。

また対象害虫はケムシ、コガネムシ、スギノハムシなどの害虫ハバチ類でくん煙剤の使用量は一町歩当りガンマ一位四百五十グラムを基準としている。

中魚沼一帯に今年五月頃からスギノハダニが発生汚染して、町村の杉林が被害を受けている。青氣太豆の杉林もこれが被害を受けて、くん煙剤を実験試験した所大の上の方だけに発生するので、防除には効果を得なかったがコガネムシ、ハバチ類には効果があった。

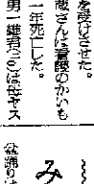
本市は県農林部長に陳情中であるが、スギノハダニを法定害虫に指定して補助金交付の途を開いて欲しいと具体的に陳情することになった。

（写真はくん煙剤の試験）

薄幸の境遇を克服

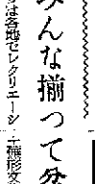
女手で一家を支える

郡市社会福祉事業大会が去る六月二十四日開かれたが、席上吉田町島の佐野ヤスさん（四）は女手一つでよく一家を支え、悲境を克服して、幾度を涙に守り通してきた婦人の鑑として、その表彰を受けた。



佐野さん

ヤスさんは、農業作面積五反歩という恵まれない農家で、昭和十八年夫に嫁ぎ、ヤスさんは七十余才の両親と共に、四人の子供を抱えて、苦難を乗り越えて来ました。しかし、長男は戦争で死亡した。その年末、子の利夫ちゃんも亡くなり、この不幸続きの上にまた夫に嫁ぎ、ヤスさんの平穏な家庭生活を乱ることになり、身体の利かなくなった姑を抱え、一時は一家の中心となって悲しい立ったという。然し子供を立派に育てあげることが戦死した夫へのせめても



の善行と考えられ、ヤスさんは、農業のかたわら遺族厚生年金を受けて、三人の子供を立派に育てあげ、長男は一日も学校を休まず、一生懸命勉強して、五年生の時、皆勤賞をもらい、六年生時代は三年連続皆勤賞をもらい、中学校に入学し、皆勤賞を受けている。

農業のかたわら遺族厚生年金を受け、三人の子供を立派に育てあげ、長男は一日も学校を休まず、一生懸命勉強して、五年生の時、皆勤賞をもらい、六年生時代は三年連続皆勤賞をもらい、中学校に入学し、皆勤賞を受けている。

農業のかたわら遺族厚生年金を受け、三人の子供を立派に育てあげ、長男は一日も学校を休まず、一生懸命勉強して、五年生の時、皆勤賞をもらい、六年生時代は三年連続皆勤賞をもらい、中学校に入学し、皆勤賞を受けている。

長男義男さんは、ヤスさんを助けて農業に励み、生活の上に、また、長男義男さんの早期結婚を考えることになり、身体の利かない姑の世話をしながら、一家の中心となって